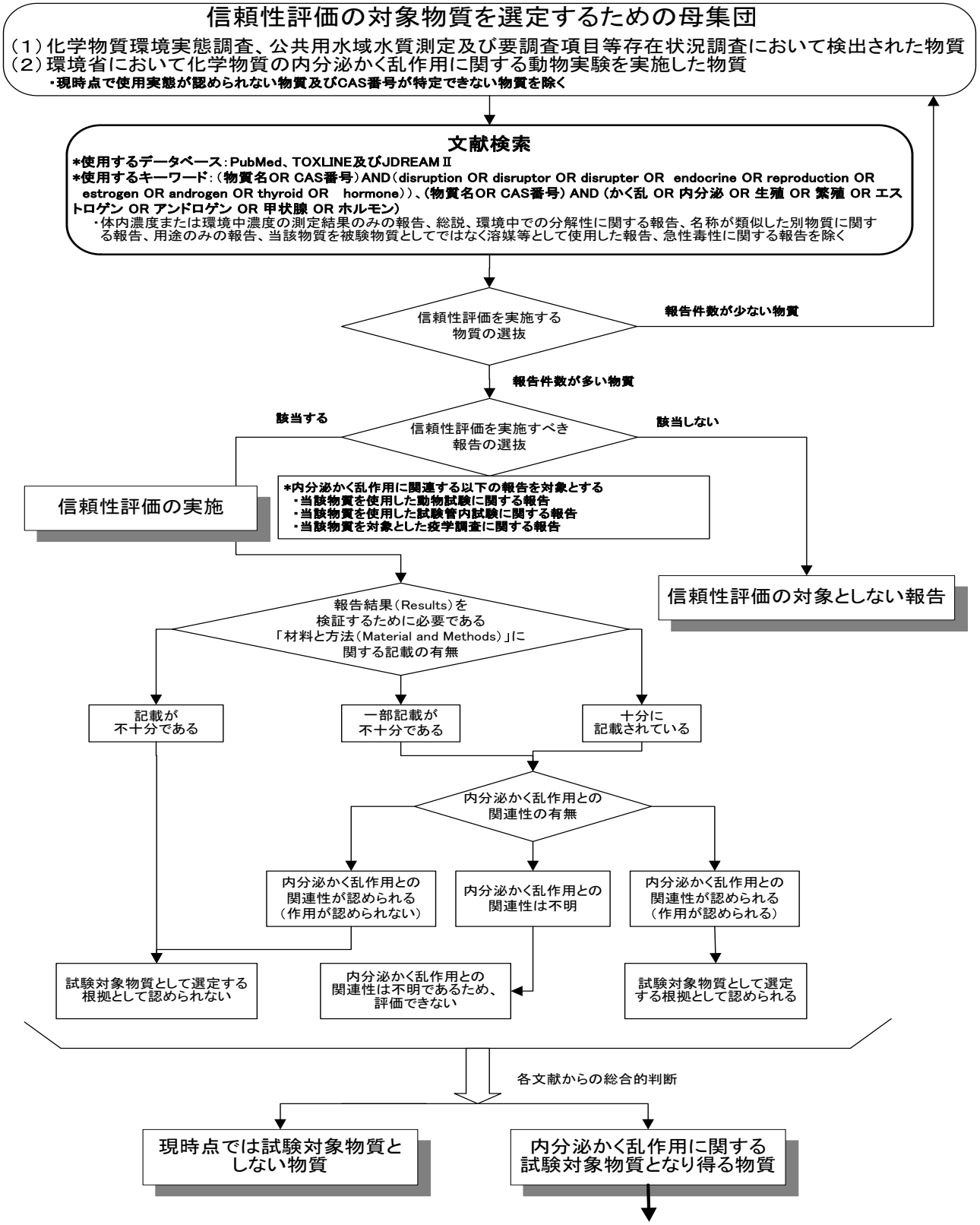
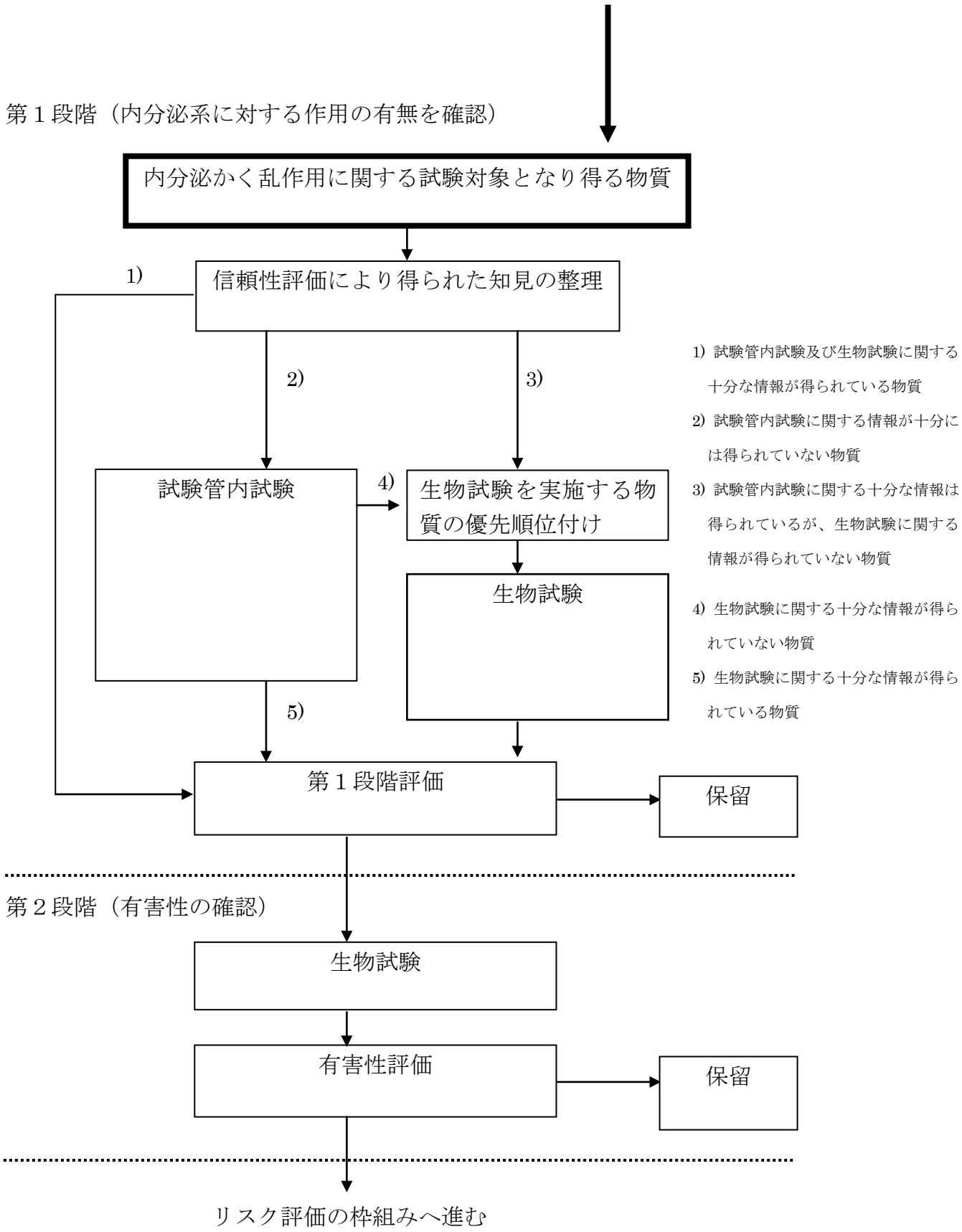
12.11.09

参考資料　3

# EXTEND2010 における内分泌かく乱作用に関する試験及び評価の基本的な流れ




第１段階（内分泌系に対する作用の有無を確認）
内分泌かく乱作用に関する試験対象となり得る物質
1)
信頼性評価により得られた知見の整理
2)
3)
試験管内試験
4)
生物試験を実施する物質の優先順位付け
生物試験
5)
第１段階評価
保留
1) 試験管内試験及び生物試験に関する十分な情報が得られている物質
2) 試験管内試験に関する情報が十分には得られていない物質
3) 試験管内試験に関する十分な情報は得られているが、生物試験に関する情報が得られていない物質
4) 生物試験に関する十分な情報が得られていない物質
5) 生物試験に関する十分な情報が得られている物質
第２段階（有害性の確認）
生物試験
有害性評価
保留
リスク評価の枠組みへ進む